

# 学校定期健康診断における アトピー性皮膚炎の調査

出典 西日本皮膚科(0386-9784)56巻6号 Page1187-1191(1994.12)  
(<http://search.jamas.or.jp/link/ui/1995114632>)

著者 木村有子 他

調査地域 青森県

調査時期 1993年

調査対象 3~15歳

依頼数 1470人

回収数(率) 1470人(100%)

有効回答数(率) 1470人(100%)

診断方法 医師による診察

有症率 10.5%

年齢別有症率	3-5歳 :	12.1%
	6-7歳 :	9.0%
	8-9歳 :	13.7%
	10-11歳 :	15.1%
	12-13歳 :	9.2%
	14-15歳 :	6.8%

男女別有症率	男	女
3-5歳 :	11.9%	12.3%
6-7歳 :	7.3%	10.7%
8-9歳 :	13.1%	14.3%
10-11歳 :	17.3%	13.4%
12-13歳 :	9.0%	9.4%
14-15歳 :	6.6%	7.0%

調査概要 青森県弘前市内の幼稚園、小中学校の定期健康診断での医師による有症率調査。男女ともに6-7歳が低く、10-11歳でピークとなりその後下降していた。アトピー性皮膚炎児では喘息の合併が多かった。